



貫山 めきさん | 712m 福岡県



カルスト台地の平尾台。石灰岩の羊群原を望む。

北九州国定公園の平尾台は国内でも有数のカルスト台地で、広い草原に白い石灰岩が無数に広がる様子はまるで羊の群れのように望める。貫山はその平尾台の北側に位置する貫山地の主峰でもある。

アクセス

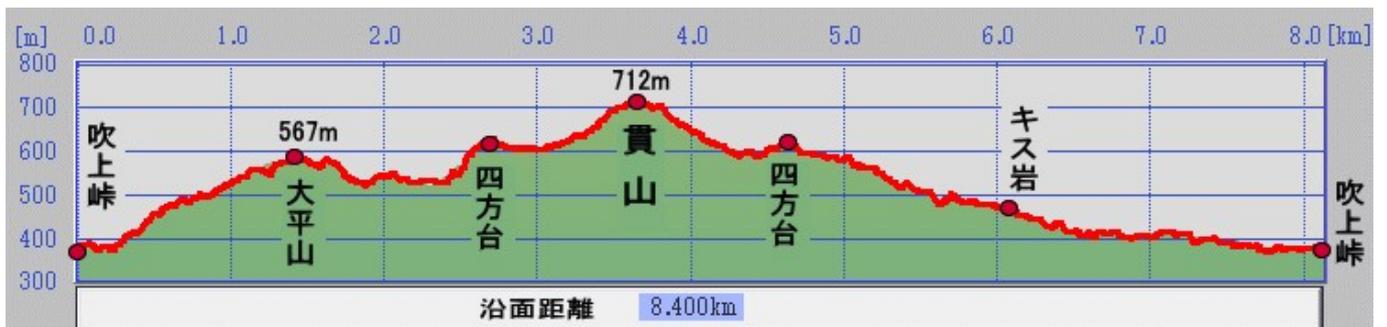
マイカーでの移動を望む。九州自動車道・小倉ICを下り国道322号線を南下、平尾台入口交差点にて県道28号線に入り、平尾台へと上がっていく。

今回は吹上峠の登山口からの出発。貫山に登頂しその後は青龍窟や天狗岩などへ足をのびし平尾台を周回、平尾台のカルスト地形が造り出した自然の造形美を存分に楽しむことができる。



レポート

吹上峠より貫山へ。(登山日 2020. 05. 02)



参考コースタイム 吹上峠～40分～大平山～1時間～貫山～30分～キス岩～40分～吹上峠

参考歩行時間 3時間

吹上峠の駐車場より出発。道を挟んで向かいの登山口より草原の中の道を上がっていく。

まだこの辺は小さな石灰岩がポツリポツリと少ない。いきなりの急な斜面の上りであるが、春にはカノウコソウなどの花が咲き、楽しみながら上れる。次第に石灰岩の群れも増えていき最初のピークでもある大平山（おおへらやま）に出会う。この辺まで上がると広大なカルスト台地が広く見渡せることが出来、平尾台の雄大な様が目目の当たりに出来る。



吹上峠登山口



大平山



石灰岩の羊群

大平山より一旦急斜面を下り、鞍部より四方台に向けて再び上りとなる。

平尾台では春、貴重な花々も咲くことも有名で花の鑑賞登山としても楽しめる。キンラン、翁草、シランと言った貴重な花々もこの山で見られるのが特徴である。

また秋には色付いたススキが平尾台一帯を埋め尽くし、日差しでこれらが輝く様もまた圧巻である。

四方台の分岐より貫山に向けての上り。方角を北にかわり防火帯の急登の道を上がっていく。

やがて三角点とポールがたつ貫山山頂に登頂する。

山頂からは北東側の展望が広がり、直下の街並みや周防灘や響灘を見渡せる。また北九州空港も間近に望めて、山頂でのんびり腰かけ、空港からの発着する航空機を望むのもまた楽しいかもしれない。



四方台



貫山山頂

山頂から一旦四方台まで戻り、今度はそのまま稜線上を南へ歩いてみる。
稜線上からもまた変化に富んだ広大なカルスト台地を望める。大きな凹状の窪み！これはまさにドリーネである。これだけ巨大なドリーネが見られるのも平尾台ならではのもの。
南に伸びる稜線を雄大な景観を楽しみながらのんびり歩いていく。



石灰岩群落と巨大なドリーネ



ずっと続く稜線の道



冬場の平尾台

中峠まで進んでも良いが、その手前の分岐より稜線から下りてみた。
石灰岩の群落に覆われた岩山を望みながら回り込むように下っていく。



石灰岩の羊群に覆われた岩山

そのまま吹上峠の方へ下っても良いが、ここは途中の分岐から別のルートへ、いろいろな形をした石灰岩の群れの中へ入って見よう。

様々な形をした石灰岩の大岩。それはいろいろな動物にも見え、また蛸にも見えたり、想像するとまた楽しい。名物「キス岩」や「ド根性の木」も見ることが出来る。

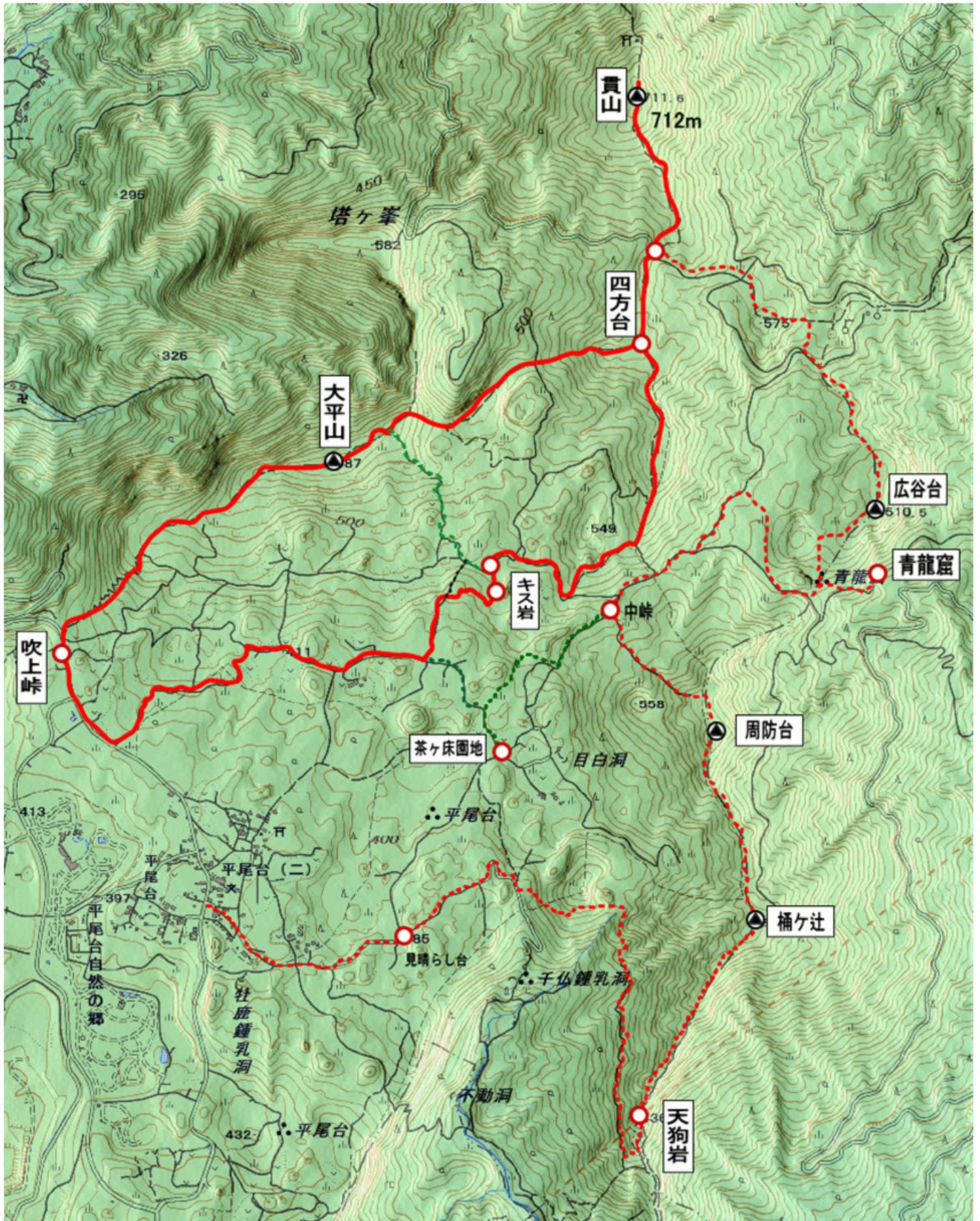


分岐



キス岩

その後も石灰岩の群れやドリーネを見ながら下っていき、県道に出る。
県道路をそのまま進んで吹上峠まで戻る。



平尾台では網の目のように色んなルートがある。
一度ではなく、何度かルートを変えて登って見るのもまた楽しい。